



地域医療連携室だより



今年も残すところわずかとなりましたが、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今年度は当初より、新型コロナウイルス感染症の対応で、例年とは違いかたちで病診連携をすすめることとなり、地域医療機関のお力添えをいただきながら、年末を迎えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

まだまだ先が見えないコロナ禍ではありますが、来年もより一層地域医療機関の皆様との連携向上をめざしていく所存ですので、引き続きご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

第3回 はびきのチャンネル

【1月の予定】

1月28日(木) 14:00~15:00

循環器内科 主任部長 江角 章 先生



「あたらしい心不全の治療薬」

Web会議システム「Webex Meetings」を利用して開催いたします。パソコンやスマートフォンで聴講が可能ですので、お気軽にご参加お願いいたします。

※参加を希望される方は、医療機関名とご芳名および希望される開催日を記載の上
アドレス：habikino_channel@ra.opho.jp または
右QRコードへ送信してください。



*当センターより、「Webex ミーティング招待状」メールおよび「Webex Meetings」の利用方法について返信させていただきます。

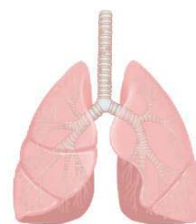
〈メールアドレス〉

年末年始のお知らせ

年末年始、令和2年12月29日(火)~令和3年1月3日(日)は休診となります。

地域医療連携室の業務は年内12月28日(月)17時30分までとなります。FAXは休業中でも受け付けておりますが、対応は1月4日(月)9時からとさせていただきますので、ご了承くださいませようお願いいたします。

呼吸器内科 vol.2



間質性肺炎に対する抗線維化剤について

当科では、多数の間質性肺炎の患者さんの診療をしています。間質性肺炎には、特発性間質性肺炎、過敏性肺炎、膠原病肺（慢性関節リウマチや筋炎が中心です）などが含まれます。治療に関しては、過敏性肺炎や膠原病肺の場合はステロイドや免疫抑制剤の使用が中心となり、特発性肺線維症の慢性期にはステロイドはむしろ使用すべきではないということになっています。

📌 特発性肺線維症慢性期の治療について

特発性肺線維症の治療においては、抗線維化剤が使用できるようになっています。2008年12月からピレスパ®（ピルフェニドン）が販売されました。臨床試験では、呼吸機能悪化の抑制や生存期間の延長が示されています。2015年8月にはオフエブ®（ニンテダニブ）が販売され、こちらも呼吸機能悪化の抑制が示され、急性増悪の発現の抑制の可能性も示されています。



ともに発売時には適応は特発性肺線維症のみでしたが、オフエブ®（ニンテダニブ）については、2019年12月に全身性強皮症に伴う間質性肺疾患に、2020年5月には進行性線維化を伴う間質性肺疾患に適応が拡大しています。特に「進行性線維化を伴う間質性肺疾患」には、特発性間質性肺炎との鑑別が難しい慢性過敏性肺炎、膠原病肺、特発性肺線維症ではない特発性間質性肺炎などが含まれ、治療の幅が広がることが期待されます。

📌 問題は医療費・・・

ピレスパの1か月の薬価は63,774円～191,322円であり、オフエブでは1か月の薬価は267,048円～400,584円と高価です。

明らかな蜂窩肺を認める**特発性肺線維症**は、外科生検による組織診断がなくても難病申請をすることができ、医療費助成制度を受けることができます。ところが、**非特異性間質性肺炎**（NSIP；nonspecific interstitial pneumonia）など、他の特発性間質性肺炎の難病指定には、侵襲的な外科生検が必要になります。また、**過敏性肺炎**には難病制度がありません。



患者さんには医療費についてもお話をし、使用についてご相談する必要があります。また、食思不振、悪心、嘔吐といった消化器症状も高頻度起こりますので、高齢者には使用しづらいことが多い薬になります。当科では、上記のような制限についても考慮して適応を決めております。適応の方がおられましたらご紹介をお願いします。

産婦人科 vol.1

胎児スクリーニング検査のお知らせ

当科では世界最高峰の産科専用の超音波機器である Voluson E10 を導入し、小川憲二医師（周産期専門医、超音波専門医を取得）を中心に胎児スクリーニング検査を開始しました。

初期スクリーニング検査は妊娠 10～13 週に行い、主に 21 トリソミー、いわゆるダウン症のスクリーニングで、妊婦さんの費用負担となります。

30 週スクリーニング検査は妊娠 29～31 週に実施し、胎児の異常の有無、特に心奇形の有無を評価し、同時に 4D エコーで胎児の顔の写真を提供しております。30 週スクリーニング検査は、受診券の範囲内で実施しており妊婦さんの費用負担はありません。



NT 計測（正常範囲例）



当院分娩予定の妊婦さんでご希望の方がおられましたら、月曜日の午後（1 枠）と水曜日の午前（2 枠）の地域枠がありますので、地域医療連携室を通して予約が可能です。是非ご利用ください。

 次回は引き続き産婦人科（vol.2）、新たにアレルギー内科を掲載させていただく予定です。

大阪はびきの医療センター 地域医療連携室
直通：072-957-8030 代表：072-957-2121
FAX：072-957-8051

地域連携室室長： 川島 佳代子
マネージャー： 秦 順子